

- アイサワ工業(株)大阪支店
- 青木あすなろ建設(株)大阪本店
- あおみ建設(株)大阪支店
- (株)浅川組
- (株)浅沼組
- (株)新井組
- (株)安藤・間大阪支店
- 岩田地崎建設(株)大阪支店
- 大木建設(株)大阪支店
- (株)大林組大阪本店
- 大林道路(株)大阪支店
- (株)大本組大阪支店
- (株)奥村組西日本支社 関西支店
- 奥村組土木興業(株)
- オリエンタル白石(株)大阪支店
- 鹿島建設(株)関西支店
- 株木建設(株)大阪支店
- 北野建設(株)大阪支店
- (株)クボタ建設大阪支社
- (株)熊谷組関西支店
- (株)鴻池組
- 五洋建設(株)大阪支店
- 佐藤工業(株)大阪支店
- 清水建設(株)関西支店
- ショーボンド建設(株)近畿圏支社
- 西武建設(株)関西支店
- (株)銭高組大阪支社
- 大末建設(株)大阪本店
- 大成建設(株)関西支店
- 大成ロテック(株)関西支社
- 大鉄工業(株)
- 大日本土木(株)西日本支社
- 大豊建設(株)大阪支店
- 高松建設(株)
- (株)竹中工務店
- (株)竹中土木大阪本店
- 鉄建建設(株)大阪支店
- 東亜建設工業(株)大阪支店
- 東急建設(株)関西支店
- 東洋建設(株)大阪支店
- 戸田建設(株)大阪支店
- 飛鳥建設(株)大阪支店
- 奈良建設(株)大阪支店
- 南海辰村建設(株)
- 西松建設(株)西日本支社
- 日特建設(株)大阪支店
- (株)NIPPO関西支店
- 日本国土開発(株)大阪支店
- (株)ノバック
- (株)長谷工コーポレーション関西
- (株)ハンシン建設
- (株)ピーエス三菱大阪支店
- (株)久本組
- 深田サルベージ建設(株)大阪支社
- (株)福田組大阪支店
- (株)藤木工務店
- (株)フジタ西日本支社 大阪支店
- (株)不動テトラ大阪支店
- (株)本間組関西支店
- 前田建設工業(株)関西支店
- 松井建設(株)大阪支店
- (株)松村組大阪本店
- 丸磯建設(株)関西支店
- 三井住友建設(株)大阪支店
- みらい建設工業(株)大阪支店
- 村本建設(株)
- 名工建設(株)大阪支店
- (株)森組
- (株)森本組大阪支店
- 矢作建設工業(株)西日本支社
- (株)吉田組
- 寄神建設(株)関西支店
- ライト工業(株)西日本支社
- りんかい日産建設(株)大阪支店
- 若築建設(株)大阪支店

editor's voice  
2020.December

編集後記

今年、は年初より、中国 武漢で新種のウイルス感染が広がりはじめた。という不気味なニュースが駆け巡り、瞬く間にそのウイルスの感染は世界中に拡大、日本でも新型コロナウイルスに終始した1年となりました。社会構造や生活様式そのものが変わろうとしている昨今、わが建設業界においても例外ではなく、感染拡大防止の一環として、職場における「ソーシャルディスタンス」の確保や「テレワーク」などによる業務のオンライン化も推進せざるを得ない環境にあります。

そんな中、私たち広報委員会も、テーマのみならず取材・編集の進め方そのものを見直す必要性に迫られ、各編集コーナーごとに少人数のチームで企画・取材・編集を行ってきました。

巻頭対談のテーマは「笑い」と「ユーモア」。関西大学の名誉教授で日本笑い学会会長の森下伸也氏をお招きし、ホスト役として日建連関西支部副支部長の佐々木嘉仁氏と、現下のコロナ禍を吹き飛ばす「笑い」の大切さについて語り合っていました。

レポート最前線では、都市型のダムとして話題を呼ぶ「安威川ダム」の建設工事について取材し、ランドマークでは「枚方市総合文化芸術センター」の建設工事の現在を伝えました。

歴史上の人物として「角倉了以」の偉業について触れ、しびる Walker では、忍者観光で繋がりが合う伊賀市・甲賀市を取材しました。

今年にはコロナ禍の影響で、昨年より約2ヶ月も発刊が遅くなってしまったことをお詫びいたします。来年にはこのコロナが収束に向かい、例年通りに戻してくれることを願って止みません。

最後に、本誌の発刊に際してご協力を賜りました関係各位のご厚意に心より感謝申し上げます。

「しびる」について、あなたのご意見、ご感想をお聞かせください。

送り先

〒540-0031  
大阪市中央区北浜東1-30 大阪建設会館内  
**(一社)日本建設業連合会 関西支部** **ご意見・ご感想係**



●今号の表紙  
安威川ダム建設工事(2020年9月撮影)

都市型ダムとして話題を集める安威川ダムの建設工事(大阪府茨木市)が2022年完成を目指して進んでいます。写真は展望広場から眺めた建設現場(右岸から)。

※しびるの既刊号については、こちらをご覧ください。  
<https://www.nikkenren.com/about/shibiru/index.html>

2020年3月29日全線開通 大阪都市再生環状道路を形成する  
阪神高速6号大和川線(鉄砲~三宅西間)が開通しました。

大阪都心部における新たな環状道路「大阪都市再生環状道路」の一部を形成している阪神高速6号大和川線は、堺市と松原市を東西に結ぶ9.7kmの自動車専用道路で、そのほとんどがトンネル構造になっています。

この大和川線の開通により、大阪湾臨海部や内陸部の各拠点間のアクセス向上と、都心部や周辺の一般道の渋滞・混雑の緩和に寄与しています。



大和川線の4つの工法

高架構造

街の風景と一体となる構造物のため、周囲の景観などの調和が求められます。大和川線は4号湾岸線と接する三宅出入口周辺と14号松原線と接する三宅西出入口周辺のみが高架構造となっています。



開削トンネル

まず土留め壁の杭を打ち、土が崩れないよう壁を作り、その内側を掘削する工法で、所定の位置まで掘削ができたならコンクリートの本体を構築し、土で埋め戻したら完成です。



シールドトンネル



丸い機械で掘進していくので、壁が半円形になっているのが特徴です。シールドマシン前部のカッターを回転させながら土を削るよう掘っていきます。

矩形シールドトンネル



「矩形(くけい)」とは四角形という意味で、矩形シールドは、シールドマシンのカッターが回転しながら壁を四角く掘削する技術を用いた機械です。完成形に近い四角に掘削することで、円形シールドマシンよりも掘る体積にムダがありません。大和川線では、常磐出口(東行き)で採用されました。